

南古河駅の早期実現を(第二回定例会) 必要不可欠なものにしたい(白戸市長)

【問】現在、新市の向こう十年間の計画を立てる「第一次古河市総合計画」策定の作業が進められています。総合計画の策定にあたり、合併協議会で検討された新市建設計画は、どのように位置づけていくのか。また、新市建設計画の中で、四つの先導的プロジェクトが掲げられているが、この位置づけはどのようになるのか。

市民アンケート調査で関心の深いプロジェクトは、一位(仮)南古河駅の設置、二位筑西幹線道路の整備、三位高等教育機関の誘致の順になっており特に(仮)南古河駅の設置は、十代、49・8%、二十代30・6%と高く若者たちの多くが南古河駅の設置に大きな期待と関心を寄せている。

私は、このようなプロジェクトに真剣に精一杯取り組んで、努力をすれば必ずできるのだという姿を、子どもたちに示していくことこそ教育であり政治の役割であると思う。そして、それが若者に対して、夢と希望を与えられるものと確信しているが、市長の意気込みを伺いたい。

【白戸市長】

総合計画の策定にあたっては、市民アンケート調査や市民まちづくり委員会、パブリックコメントなどで幅広く市民の意見を聞き、夢がありわかりやすく親しみやすい計画にしていきたい。また、新市建設計画が合併する三市町の将来像を示すものとして、合併の判断材料になっていたため、これを尊重し趣旨や内容を生かしていきたい。さらに、先導的プロジェクトの四事業につきましても、新市建設計画に含まれておりますので、市民の意見や提言を加味した上で、総合計画の中でも十分に生かしていきたい。

特に、(仮)南古河駅の実現に向けての意気込みということではありますが、この新しい駅が、新しい古河市のために必要不可欠なものになるように頑張っていきたい。

教育理念について

【問】松原教育長におかれましては合併における調整や統合の作業が続いている中で、ご尽力をいただいております。国において教育基本法の改正の論議がなされておりますが、教育基本法

によりますと、その目的は「教育は、人格の完成を目指し、平和的な国家および社会の形成者として、心理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と記されています。一口に教育といってもたいへん幅広いものだと思いますが、古河市としての教育理念についてどのように考えているか伺います。

【松原教育長】

教育とは、子ども達一人一人が、人格の完成を目指して個人として自立しそれぞれの個性を伸ばし、その可能性を開花させること、そして、どのような道に進んでも、自らの人生を幸せに送る基礎を培うことにあります。

子ども会育成会キャンプ(那須甲子少年自然の家)

このような基本的な考え方をもとに、学校教育目標として「一人ひとりの個性や能力を伸ばし、豊かな学びをほぐくむ、健康な体をつくりたくましい心を養う、郷土古河を愛し豊かな心を培う。」を掲げて、子ども達の夢や願いの実現を目指して、人間力を豊かに育てる教育を進める施策を講じており、市内三十二小中学校の教職員に対して、周知徹底していきたい。

青少年の健全育成は

【問】子どもは国の宝であり地域の宝であります。子どもを生んでもらうことと同時に、健全に育てて社会に羽ばたかせていくことも、私たち大人に課せられた責務であると思います。教育についての市民アンケート調査で市民が最も望んでいることが「青少年の健全育成の推進」であります。市の取り組みはどうか伺います。

【社会教育部長】

子ども達の痛ましい事件や事故が連日のように報道されておりますが、古河市としては青少年の健全育成は、社会教育の最重要課題として取り組んでいます。

子ども会活動におきましては、体験活動や集団活動を通じて子どもの健全育成が図られておりますが、今後とも子ども会の育成に尽力していきたい。

NHK夏季巡回ラジオ体操会の招致を

実施に向けて検討する(第二回定例会)

【問】♪「新しい朝が来た、希望の朝だ、喜びに胸を開け、大空仰げ・・・」というラジオ体操の歌が始まるラジオ体操は、国民の健康増進を目的に、今から78年前の1928年かつての逓信省簡易保険局で制定されて以来、NHKの電波に乗って「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にできる健康法として全国的に定着しています。

市内においても、老人会や子ども会職場や学校等で広く行われております。しかし、全国的に少子化や地域コミュニティの意識の希薄化などでラジオ体操会に参加する子どもの数が減少しています。そのため、子ども達の運動能力や柔軟性が低下し、自律神経の不調等も招いていると危惧されています。

文部科学省では、平成十八年度より「早寝、早起き、朝ごはん国民運動」を推進していますが、その一環としても意義深いものがあります。さらに、地域と学校との連携という観点や、来年行われる「ねりんピック茨城大会」に向けての取り組みとしても、最適であると思います。

市内における地域や学校での取り組みはどのようになっているか。また、来年夏のNHKの「夏季巡回ラジオ体操会」を古河市に招致してはどうか。

【社会教育部長】

地域での取り組みとして老人クラブ福祉の森、町内会あるいは職域や子ども会などで取り組んでいます。8月6日に行われた子ども会育成会総和地区の親子ラジオ体操会には、1641名の方に参加していただきました。学校では、運動会や陸上記録会などの行事の時に行われています。

【総合政策部長】

来年夏のNHKの夏季巡回ラジオ体操会については、郵便局を通じて申し込んでいきたい。

子ども会・親子ラジオ体操会(水海小学校)

プロジェクト推進室の

取り組みについて

【問】 昨年九月十二日に三市町が合併し新生古河市が誕生して、早一年が経過いたしました。現在、新市建設計画をもとに、総合計画の策定の作業が行われています。新市建設計画では、その将来像を「風格と希望に満ちたいきいき古河」と定め、3つの基本姿勢が示されています。

一、県西地方の中心都市としてふさわしい魅力あるまちづくり
二、ふれあいと共生を大切にするまちづくり
三、一人ひとりが主役のまちづくり

であります。そして、合併に対する市民の期待に応えるため、本年度から「プロジェクト推進室」が設けられプロジェクトの推進に向けて取り組んでいます。プロジェクト推進室の目的と役割は何か。また、今後の取り組みはどのように考えているか伺います。

【総合政策部長】

プロジェクト推進室では、先導的プロジェクトの中の(仮)南古河駅の設置、高等教育機関の誘致、各交流拠点の整備を担当しています。そのほかに古河駅西口地区の活性化事業、循環バス「ぐるりん号」のルートの検討をし

ています。南古河駅につきましては、五月にJR東日本大宮支社に陳情してまいりました。

【再質問】南古河駅は昭和五十八年に「東北本線南古河駅設置期成同盟会」

ができてからJRに対して毎年陳情活動が続いているだけで、実を結ぶことがありませんでした。JRの示す条件に対して何の回答も示さずただ陳情に行くだけでは到底できないと思います。たとえば、駅の用地はもちろん駅前広場やアクセス道路、駐車場や駐輪場の整備さらに、周辺のまちづくりはどのようにするのかという計画を立てて、市の熱意を示していくことが必要であると思う。駅用地や周辺整備といっても一朝一夕には行かないかもしれないが、市としての熱意を示せば、必ず住民も賛同していただけるものと思う。全国各地で同じような新駅実現に向けて取り組んでいる自治体もあると思うが、恩田助役に御所見を伺いたい。

【恩田助役】

私の友人が、鳥取県米子市の助役をしているが、米子市にはJRの駅が十三箇所あるということで、すごいと感じた。米子市と人口がほぼ同じ約十五万人の古河市にも、せめてもうひとつくらいは駅があってもいいと思う。全国各地における取り組みについて勉強させていただき検討していきたいと思う。

第十四回環境自治体会議

鹿児島県指宿市

五月二十四日～二十六日まで鹿児島県指宿市において、第十四回環境自治体会議が開かれた。市長はじめ市執行部、および市議会議員の有志が参加した。私も始めて参加させていただいた。

韓国や欧州における地球温暖化の現状についての報告があったが、世界の規模で地球温暖化が進んでいることをあらためて感じた。環境問題に対して、一人ひとりができることは何か、自治体としてできることは何かを真剣に考えて取り組んでいかなければならないと思う。

パネリストの声

◎鹿児島県指宿市長 田原迫 要氏

あらゆる事業の横軸に環境を入れる。環境問題の先頭に立つのは、市役所だ。目指すべき都市像は「ガーデンシティ」「エコシティ」く花と緑の推進を図る。「花と緑の部」を設置している。世界に誇れる田舎づくり、地産地消で農業と観光の融和を図っていく。

◎群馬県草津町長 中澤 敬氏

草津温泉は泉質主義。自然の恵みを全国、世界の人々と共有していく。「温泉が作る観光と健康のまち」をキャッチフレーズにまちづくりに取り組み。

◎新潟県湯沢町長 上村 清隆氏

「豊かな自然と都市機能が調和したまち」を基本理念に誰もが住みたい、誰もが訪れたいまちを目指す。生ゴミの堆肥化や食用油をエネルギーにかえる取り組みをしていく。

◎岐阜県多治見市長 西寺 雅也氏

多治見市は、最高気温が全国一のオーバーヒートイングのまち。持続可能な社会実現のため、環境行政に力を入れている。

チョットいい話

まちづくりで大切なこと

「いぶすき町づくり協議会」は市民の町づくり組織として結成された。合言葉は

自分たちの町のこと、

自分たちで考え、みんなできつくり

市民が一致団結して、今何をなすべきか。一人ひとりの経験と知恵を結集して、将来にわたって有用な宝物を、子ども達に残していく努力をしている。まちづくりの構想を市民・企業・行政が一体となって作り、「全国都市再生モデル調査」へ応募し、採用が決定され国の支援を受けることとなった。

※ 全国都市再生モデル調査とは、「自ら考え、自ら行動する」地域の活動を国が支援する事業です。

映画「日本沈没」監督

樋口真司さん(久能出身)

幼いころからの映画監督になりたいという夢を実現しました。今後とも活躍を期待いたします。

あとがき

秋篠宮様ご夫妻に、男子が誕生されました。悠仁親王殿下のご誕生を心からお慶び申し上げますとともに健やかな成長をお祈りいたします。

戦後生まれで初の内閣総理大臣に、安倍晋三氏が就任した。キャッチフレーズは「美しい国日本」をつくること。国と地方、自然も心も美しい国となるよう期待したい。

アツと！ヒューマン

冷凍みかんがヒット中！

GTP 守谷瞳さん(大堤出身)

十一月四日十三時「よかんべ祭り」に出演します。応援してください！

ありがとうございます。

来年四月に市議会議員選挙が行われます。「そのべ増治」は誠実・努力・感謝をモットーに「情熱と思いやり」で全力投球いたします。ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。皆様のご意見ご感想をお聞かせ下さい。

TEL/FAX (31) 0032